

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3871100404
法人名	慈孝会
事業所名	グループホームこうの
所在地	松山市河野別府 1 7 9 - 1
自己評価作成日	H2 2 年10月 1 8 日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成22年10月29日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

：利用者・職員も地元の方が多い。：自然に恵まれている。：畑の収穫の楽しみがある。：デイサービス・小規模多機能と併設している為地域との交流が多い。：趣味活動・行事等活発である。（俳句・生け花・陶芸・ちぎり絵・絵手紙・押し花・折り紙など）：地域の子どもの交流がある。：デイサービスの大浴場で2～3人の方と入浴できる。（個浴・夜間・毎日等希望に応じる。）：口腔体操を実施し口腔機能低下に努めている。：パワーリハビリ（マシン）使用し機能訓練ができる。
：利用者優先のケアを心がけ傍に寄り添い、心に寄り添い傾聴するケアに心がけている。また利用者の要望・意見・不満等職員全員で満足のいく方向へ日々努力しているとともに、受容のみでなく全ての面で個々の利用者に対して、自立、予防介護への前向きなミーティングを行なっている。

行事と合わせて年2回、家族会を開催している。又、ご家族の来訪時は、ご本人の様子を伝えて気付いたことや気になることを言ってもらえるよう働きかけておられる。又、職員は、ご家族に「看取りの意識調査」や「食の嗜好調査」のアンケートを取り、出された意見について話し合い、反映に努めておられる。事業所の畑を手伝ってくださるご家族もいる。
掲示されている行事時の写真を見ながら職員は、利用者と一緒に話をすることもあった。居間から見ると畑には、大根やホウレンソウ、サツマイモを植えておられ、利用者が水やりして、成長を楽しみに眺めたり皆で収穫をされている。昼食後は、ご家族の来訪がある方は居間で過ごされたり、職員とおしゃべりしたり、日向ぼっこされている利用者もあった。又、自主的に廊下を歩行練習する利用者の様子も見られた。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目：9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目：28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名

(ユニット名)

グループホーム こうの

記入者(管理者)

氏名

前野 悦子

評価完了日

H22年 10 月 18 日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 理念を具体化して(グループホーム・個人目標)目に触れる所に張り出し、意識の積み重ねで行動に移せるように努力している。また、4月・10月に経過を報告して目標達成に向け努力している。 (外部評価) 事業所理念である「お年寄りに対する尊敬の気持ち」「地域社会への貢献」「やりがいのある職場作り」に基づき「利用者の笑顔が引き出せるようなケアを心がける」とグループホームの目標を掲げておられ、「どのような事業所にしていきたいか」ということを踏まえて、年2回、職員で目標を立てて、理念をより具体的に組み立てるようにされている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 地域の春・夏祭りに参加し地域に出かけたり、記念行事や地域交流会を開催し近所の方に来て頂き、また小学校、保育園と交流がある。(施設訪問・七夕飾り・お遊戯会等) (外部評価) 事業所の隣には公民館があり、行事時には館長が声をかけてくださる。公民館で行われた「春祭り」時は、事業所の交流ルームで「喫茶店」を開き、民生委員の方達やご家族も手伝ってくださった。小・中学校が職場体験等で来られた際には、レクリエーションをして触れ合ったり、利用者が学生の頃の話をする等、交流された。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 運営推進会議・健康教室等で認知症の人への理解や接し方の勉強会を行なっている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている</p>	(自己評価)	<p>地域の方やご家族等、参加いただく方達の関心のある こと等を探り、議題等も工夫されたり、参加しやすい 会議に努めていかれてほしい。多くの方に参加いただ き、さらにネットワークを拡げていかれてほしい。</p>
			<p>小規模多機能居宅介護の職員や利用者・家族の方地 域の方などに参加してもらい、意見交換や質問を受けて 検討している。常勤者が、参加できるよう勤務調整を している。</p>	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くよう に取り組んでいる</p>	(自己評価)	<p>北条地区の松山市地域密着型サービス連絡協議会に出 席し他施設との情報交換を行い質の向上に努めてい る。</p>
			<p>運営推進会議時、市の担当者の方に会議の議題や看取 り支援の体制等について、他事業所の取り組み事例を 教えていただいた。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準におけ る禁止の対象となる具体的な行為」を正し く理解しており、玄関の施錠を含めて身体 拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	(自己評価)	<p>身体拘束委員会を持ち毎月話し合いを持ち身体拘束を しないケアに取り組んでいる。また勉強会を実施し正 しく理解している。</p>
			<p>併設事業所と合同で、月に一度「身体拘束委員会」を 開催して「徘徊しないよう、車椅子やベッドに体幹や 四肢を縄で縛っていないか」等、チェック表の項目に 沿って点検されている。日々のケアの中で「危ないと 感じた時」には、ヒヤリハット報告書を作成して、全 職員で安全で自由な暮らしを続けられるよう話し合っ ておられる。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 虐待が見過ごされることがないように注意を払い虐待防止に努めている。身体拘束委員会で毎月検討している。。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 社協等主催する成年後見制度及び権利擁護についての研修に参加したり伝達講習で勉強している。必要があれば、希望に添えるよう準備している。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時は、事業所のケアに関する考えや、取り組み、退去、重症化や看取りについての対応、医療連携体制の実際などについて詳しく説明し同意を得ている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 玄関に意見箱を設置したり、ご家族が、来所時や家族会等で常に問い掛け何でも、言ってもらえるような雰囲気作りに留意している。苦情、不満がある場合、毎月の業務改善委員会や運営推進会議で検討する仕組みを取っている。 (外部評価) 行事と合わせて年2回、家族会を開催している。又、ご家族の来訪時は、ご本人の様子を伝えて気付いたことや気になることを言ってもらえるよう働きかけておられる。又、職員は、ご家族に「看取りの意識調査」や「食の嗜好調査」のアンケートを取り、出された意見について話し合い、反映に努めておられる。事業所の畑を手伝ってくださるご家族もいる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<p>(自己評価)</p> <p>運営に関すること等、日頃より職員の声に耳を傾け月1回の業務改善委員会やこの運営会議で情報交換や検討会を行っている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>管理者は、日頃から職員の意見を取り入れ、より良いケアができるよう努めておられる。月1回の職員会では、業務等について出された意見等について、皆で話し合い決めるようにされている。</p>	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<p>(自己評価)</p> <p>国家資格の有無等を考慮した給与を設定している。</p>	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<p>(自己評価)</p> <p>研修ファイルを用意して希望研修を受けやすい環境を、整えている。また勉強会の計画をたて月1回の勉強会・外部研修等の伝達講習を行なっている。</p>	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	<p>(自己評価)</p> <p>松山市地域包括支援センター北条地区主催の松山市北条地域密着サービス連絡会議に参加してサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	<p>(自己評価)</p> <p>不安が軽減するよう傾聴し24時間シートを使用し利用者の声・言動を書き綴り職員全員で取り組み情報の共有に努めている</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) ご家族が求めるものを理解して不安が解消できるよう受け止める努力をしている。	
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相談時、本人やご家族の思いや状況等確認し、主治医の継続や訪問歯科の利用等、必要なサービス利用も含めて対応に努めている。	
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 本人の思いを知り受け止めながら調理、洗濯、畑作り等で生活の知恵を教えてもらう等の場面づくりや声掛けを行なっている。	
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 行事の開催やお花見に案内状を送り参加を呼びかけたり病院受診の時の同伴をお願いしたり、家族との絆を大切にしている。	
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 本人の要望を家族に伝えて昔なじみの美容院へ行ったり家族と一緒に墓参りしたりと繋がりが、継続できるよう支援に努めている。また遠方に住む家族には、近況報告とともに写真や作品を送ったり、直接電話で話したり関係が途切れないように努めている。 (外部評価) 職員の異動が少なく、利用者にとって職員も馴染みの人になっている。年4回発行の「瓦版このうの村」を、ご家族以外にも、事業所に足を運びにくいご兄弟や遠くに住むご家族等にも送付されており、時にお返事をくださることもある。併設デイサービスに知り合いの方がおられ、一緒に習字や陶芸等の活動ができるよう場面を作り、関係が続けられるよう支援されている。職員とご自宅に戻ってみたり、以前勤めていた職場に行ってみることもある。利用者がご自宅で大事に育てていた花を、ご家族が摘んで来てくれることもある。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 利用者同士の関係がうまくいく様に共通点を見つけて多くの会話が持てるようにまたそれぞれの方の話が、中心となるように介入して会話しやすい雰囲気作りに努力している。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 継続的な関わりや必要とする付き合いを大切にしている。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 本人や家族から、今までの生活歴などを聞き取ったり日常の言動に耳を傾け、意向が反映できるよう努めている。また一人ひとりの細かい状況及び思いや意向を把握するためにアセスメント表を作成し検討している。 (外部評価) 思いや意向を言葉で表しにくいような利用者もおられるが、職員は、ご本人の口の動きや行動、様子を見ながら気持ちを理解することに努めておられる。職員の異動は少なく、利用者個々のことをよく知っておられ、個々の生活歴や嗜好等も踏まえ、支援に取り組まれている。職員は、利用者の若いころの話や亡くなったご家族の話し等にも耳を傾け、その時代頃に思っていたこと等も聞き取っておられる。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) なじみの家具、鉢植え、写真、仏壇等、持参してもらい、今までの生活環境の継続に努めている。これまでの経過等、担当ケアマネや担当看護師・介護士から情報を得て把握している。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 1人ひとりの声に耳を傾けながら、心身の状態を把握し満足してもらえるように努力している。希望があれば、実行出来るように環境を整えたり、発言しやすい様雰囲気作りに努力している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者や家族の要望を取り入れた介護計画を作成しケアを実践している。また定期的にモニタリングを行い本人・家族・職員間で検討や見直しをして、現状に即した介護計画を作成している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>日々のケアの中から「利用者の行いたいこと」を見出して、できること、できそうなこと等をアセスメントしてご本人のニーズを探り、ご家族の意見も聞き、職員カンファレンスで話し合っ介護計画を作成されている。洗濯物をたたむことや調理の下ごしらえ等、利用者が無理なく生活を続けられるよう支援されている。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>個別のファイルに日々の暮らしの様子や発言した言葉や実践後の結果を記入している。状態が変化した場合や工夫・アイデアを実践に反映させたい時は、伝達簿を利用し情報を共有している。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>医療連携体制を生かして、その利用者にとって負担となる受診や入院の回避、早期退院の支援を行なっている。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>近隣の住民や支所・民生委員・保育園・小学校へ「瓦版」を配布したり行事案内を出して働きかけ交流の機会を設けている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>(自己評価) 本人や家族が希望する医師をかかりつけ医としている。受診や通院については、本人・家族の希望に応じており職員同行の下受診している。主治医と他の医療機関は、診療情報提供書を通じて情報交換している。</p> <p>(外部評価) 月1回往診があり、又、必要に応じて職員がかかりつけ医への受診に同行されている。医師である理事長が週に1度訪れ、利用者と一緒に過ごして、様子を見てくださっている。</p>	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>(自己評価) 利用者に普段と違う変化があればその都度相談、報告があり看護師に報告し異常の早期発見・早期治療に結びつくよう努力している。また適切な助言により看護・介護を提供する努力をしている。</p>	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>(自己評価) 入院時には、介護要約を作成し利用者の方が安心して治療に専念できるよう努めている。また頻回に面会して関係者から情報を収集し本人や家族の希望に考慮しながら早期退院できるように検討している。</p>	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 重症化した時、ご家族、医師と相談できるようにしている。また家族の看取りに対する意識調査を実地して家族の意向が明らかになった。今後も事業所の出来ること出来ないことを明確にして家族と共に考えて行きたい。</p> <p>(外部評価) ご家族に「看取りに対する意識調査」を行われた。「最期までホームで見てもらいたい」と希望するご家族が多かったようである。運営推進会議時等でも議題に挙げて「緊急時の対応は勉強会をしているが、看取り支援の経験がないため不安がある」「家族の協力の必要」等、率直に話し合われた。現在、医師やご家族等とも話し合いながら、入院されたりホームに戻って来られたりして生活しておられる利用者をサポートされている。</p>	<p>重度化・看取りの支援については、利用者ご本人の思い等も聞き取り、事業所のできることで、ご家族に協力いただけること等についての話し合いを重ねていかれてほしい。時には、ご家族と一緒に勉強会を行う等、職員・ご家族の不安や心配なことを軽減するための取り組みもすすめていかれてほしい。他グループホームの看取りの事例を聞かせてもらったり、勉強会や運営推進会議に参加する等、情報を集めて取り組みをすすめ、利用者個々が最期までその人らしい暮らしを続けられるよう支援していかれてほしい。</p>

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 勉強会を実施し、対応できるよう努力している。また対応・手当てのマニュアルを目に付くところに貼って意識している。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 年2回夜間・昼間想定避難訓練を実施している。また地域の方・家族の方にも協力してもらえるよう連絡網・協力内容を明確にして訓練に参加してもらっている。 (外部評価) 運営推進会議時、併設事業所と合同で地域の方やご家族にも参加していただき、役割を決めて避難訓練を実施された。ご家族も緊急連絡網に入ってください、いざという時に駆け付けてくれるようになっている。又、実際に緊急連絡を回して、自宅に居る職員がホームに集合するまでの所要時間を計ってみられた。	
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) いかなる時も自尊心、プライバシーを損ねない対応に心がけている。また不安時、興奮時には、付き添い傾聴、受容するよう努力している。 (外部評価) 職員は、声の大きい利用者のご本人のプライバシーに関するようなお話をする際には、居室で行うようにされている。往診や排泄時には、異性の利用者と一緒ににならないよう配慮されたり「あまりかまって欲しくない」と言う利用者に、職員は、少し距離をとり見守っておられた。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 自己決定できるよう疑問符で問い掛けたり、表情で汲み取るよう努力している。また希望が、実現できるよう、家族に協力をしてもらったり職員間で声掛けをしながら満足してもらえるよう努力している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 1人ひとりのペースを優先し1日1日が、充実できるよう起床時間、就寝時間、食事時間、入浴時間等本人の希望に合わせてられるよう努めている。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 服選びを手伝ったり好みのものが身に着けられるよう買い物に同行したり、家族に伝え買って頂いたりしている。また家族の協力を得て美容院へ行ったり、施設内でカットして頂いたりしている。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 好みを聞きメニューに取り入れている。また畑で採れた野菜が、食卓を飾り、話が盛り上がることもあり楽しく食事ができている。準備や後片付け等利用者のレベルに合わせてワゴン・トレーで下膳してもらっている。	
			(外部評価) 利用者が立って作業することが難しくなってきたこともあり、現在は、椅子に座って食事の下ごしらえをされている。食事前には、口腔体操を行っておられる。昼食後は、食事への感謝の言葉や味付け等についての意見等を、職員に話している利用者もあつた。とろみを付けたりミキサーにかける等、利用者個々の嚥下状態に合わせて調理されている。ご家族に、「ご本人の嗜好調査」を行っておられ、好き嫌いや食事量等を聞いておられ、参考にされている。誕生日には、お寿司やおはぎ等、利用者がお好きなものを手作りしてお祝いされている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 栄養のバランスを考え、体調に合わせた食事量にしており摂取量の少ない方には、無理じいせず少量づつ頻回に勧めたり、栄養補助食品を勧めている。また好みの飲料を聞きながら水分を勧め、水分量の少ない方は、職員が意識できるようにチェックしたりペットボトルを準備し、利用者の方が、いつでも摂取出来るよう工夫している。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎回声掛けをして、習慣づけて清潔の保持に努めている。義歯が十分洗えない方や残存歯があり磨き残しがある場合には介助している。また義歯・歯ブラシ・コップ等は、週1回洗浄剤に浸けて消毒したり、日光消毒して清潔を保つ努力をしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)	排泄パターンを把握し誘導し失敗が減るよう努力している。昼間は、pトイレを使用せず、トイレの使用を促したり、自立に向けた支援を行っている。	
			(外部評価)		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)	個々の好みや心身の状態に合わせた食事療法・運動療法・薬物療法に努めて対応している。	
			(外部評価)		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)	併設のデイサービスの大浴場を使用し2~3人で入浴できる。また個々の希望に合わせて個浴・夜間(比較的早い時間)回数も希望に応じている。	
			(外部評価)		
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)	個々の入眠状況に合わせて支援している。	
			(外部評価)		

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 服薬マニュアル・チェック表を作成し指示通りの服薬が出来るように支援している。また日常服用している薬の効果・目的、副作用が、理解できるように、処方箋、文献で把握出来る様になっている。臨時薬が出た場合は、申し送りや伝達簿で把握出来る様になっている。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 生活歴や経験を活かした(針仕事・食事の下ごしらえ・洗濯物たたみ等)趣味活動の参加等で張り合いや喜びのある日々を過ごせるよう支援している。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 本人の体調を考慮し希望を聞きながら、短時間でも外出できるように努力している。公園へお弁当を持ってでかけたり、中庭で昼食を摂ったり奥道後のお花見へは、家族にも声をかけまた併設の小規模多機能・デイサービスの利用者の方も一緒に出かけた。	
			(外部評価) 利用者は、年齢を重ねるごとに、外出をすることを好まなくなっておられるようで、ご本人の体調や様子を見ながらドライブや散歩に誘ってみる等されている。散歩中にコスモスの花を摘んで帰ることもある。天気の良い日には中庭に出て、昼食やおやつを食べて過ごすようにされており、陽に当たることのできるような支援に努めておられる。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 小銭は、自己管理している方もいる。欲しい物があれば一緒に出かけ希望のものを買っている。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 希望があれば家族や大切な人への電話をしたり年賀状の代筆をしたり手紙のやり取り出来るように支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>リビングには、観葉植物季節の花を飾り心地よい音楽を流したりまた玄関から庭が見えるよう椅子を置いて居心地よく過ごせるように工夫している。趣味活動で作成した俳句や短歌、習字、塗り絵などを飾っておられる。</p> <p>(外部評価)</p> <p>趣味活動で作った短歌、塗り絵、習字等の作品を壁に飾っておられた。掲示されている行事時の写真を見ながら職員は、利用者と楽しかった話をすることもあるようだ。居間から見える畑には、大根やホウレンソウ、サツマイモを植えておられ、利用者が水やりして、成長を楽しみに眺めたり皆で収穫をされている。昼食後は、ご家族の来訪がある方は居室で過ごされたり、職員とおしゃべりしたり、日向ぼっこされている利用者もあつた。又、自主的に廊下を歩行練習する利用者の様子も見られた。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>玄関には、椅子やソファを置き、食卓テーブルからはなれた場所にソファを置き思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>使い慣れた馴染みの物を置き利用者の方が穏やかに過ごせる雰囲気作りに努めている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>併設のデイサービスの趣味活動で作成された陶芸作品や生け花、ぬいぐるみ等、飾っておられる方もいる。タンスや鏡台等、使い慣れた家具を持ち込み使用されている方やご家族の写真飾ったり、ご家族が持って来られた観葉植物やお花を大事に世話しておられる利用者もいる。居室から見える馴染みの高縄山の季節の移り替わりの風景を楽しみに眺めておられる。</p>	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>利用者の状態に合わせて手すりをトイレ廊下などに設置、安全確保と自由への配慮に努力している。</p>	